

普及振興（ASOBALL 普及振興）

日本ソフトボール協会は、令和4年度（2022年）より全国373事業所で学童・放課後施設・児童館を運営する株式会社明日葉（東京都港区、取締役社長執行役員：山下 高明）とパートナーシップを結び、当法人が推進する「ASOBALL（あそボール）」普及振興事業を連携し実施しています。

令和4年度事業として4月～8月の開催実績を報告します。

【明日葉連携事業】

- ・あしたばマインドの運営する保育園（2ヵ所/参加園児 64人）
- ・明日葉の運営する放課後児童クラブ（7ヵ所/参加児童 156人）

【JDリーグ連携事業】

- ・JSA・JDリーグ（加盟チーム）連携事業の保育園（4ヵ所/参加園児 207人）
（協力チーム名）
ホンダ リヴェルタ Honda Reverta
伊予銀行 ヴェールズ IYOBANK VERTZ

【JSA 補助事業】

- ・JSA 普及事業 ASOBALL 幼稚園・保育園・親子体験会（3ヵ所/参加児童 100人）



今後も各地へ展開していきます。



「ASOBALL（あそボール）」は、子どもたちが楽しく身体を動かすことを目的に、元日本代表監督で、現在は日本ソフトボール協会副会長として活動される宇津木妙子氏を中心にJSA 普及プロジェクト委員やオリンピックが子どもたちと直接触れ合うイベントです。スポンジ製のボール（ASOBALL）とバット（幼児用）を使って、ベースボール型のスポーツ（ボール遊び）を体験します。子どもたちは、ボールの扱いに慣れること、ボールを投げること、バットの安全な使い方やバットに当ててボールを遠くに飛ばすことなど、ベースボールの基本の動きを楽しく遊び感覚を盛り込み体験します。